

そうなんだ、きみとおれ いっしょに風の音をきく いっしょに笑い、はしる!

KAKUTAとアルケミスト

うたとことばの朗読音楽会

ねこはしる

《出演》
成清正紀
若狭勝也
野澤爽子
佐賀野雅和
四浦麻希
異儀田夏葉
多田香織
桑原裕子
(以上KAKUTA)

読本(原作)/工藤直子『ねこはしる』(童話屋刊)

演出/桑原裕子

齊藤とも子

添野豪
山本陽子
阿部みゆき
中村倫子
岡田一博
松村泰一郎 (Studio Life)
阿久澤 菜々
細村雄志 (演劇ユニットパラレロニズム)
岸野健太 (てがみ座)
小野寺ずる (口字ック)
谷恭輔
鈴木朝代

アルケミスト
こんやしょうたろう
井尻慶太



主催：舞台芸術の魅力発信事業実行委員会・武豊町教育委員会 助成：一般財団法人地域創造 問合せ：ゆめたろうプラザ 0569-74-1211

2016. 8. 27 (土) ゆめたろうプラザ (武豊町民会館) 響きホール
1回目 14:00 開演 (13:30 開場) 2回目 18:00 開演 (17:30 開場)

料金

	前売 advance	当日 door
ゆめプラメイト	2,500円	3,500円
一般	3,000円	
学生(小中高生)	1,500円	2,000円
親子(一般+学生)	4,000円	

取扱い ゆめたろうプラザ TEL0569(74)1211

※未就学児入場不可

※ゆめプラメイトチケットは1会員2枚まで

(会員チケット購入時は、会員証の提示をお願いします)

※代金引換郵便の申込みは8/13(土)まで

※車椅子席をご利用の方は事前にご予約ください


※託児あり(1歳半以上/定員10名/各回1人500円/要予約8/17(水)まで)

※町内送迎車あり

(名鉄知多武豊駅・JR武豊駅経由/片道100円/要予約8/17(水)まで)



発売 4月30日(土) 9:00~

問合せ  ゆめたろうプラザ(武豊町民会館) TEL 0569-74-1211 <http://www.town.taketoyo.lg.jp/kaikan/>
〒470-2555 愛知県知多郡武豊町大門田11番地 FAX 0569-74-1227 休館日: 月曜日(祝日の場合翌平日)及び年末年始 受付時間: 9:00~21:00

アルケミストの優しい歌とメロディが、甘く、せつなく、あなたを包みます

朗読：KAKUTA 音楽：アルケミスト 演出：桑原裕子 原作：『ねこはしる』工藤直子（童話屋刊）

KAKUTAとアルケミスト

うたとこぼの朗読音楽会

ねこはしる



写真は東京公演の様子（撮影：相川博昭）

KAKUTA

KAKUTAは1996年に結成した劇団です。初期結成メンバー三人の名前の頭文字を取って名付けた劇団名ですが、現在は俳優・スタッフを含め17名の劇団員で構成されています。演出に続き2001年から全公演の戯曲を手がける桑原裕子の作風は、緻密なプロットと生々しく存在する人物の交差で見せる群像劇が特徴で、市井の人びとがふとしたきっかけから日常を逸脱し、人生の大きな分岐点に直面していく姿を数多く描いてきました。世代を問わない普遍的な視点と心を扶ける物語性、そして劇団ならではの集団力で見せる劇世界。日の当たらない場所にスポットを当て、人生の生きづらさを掬い取ってゆく作品世界が、老若男女問わず広い客層に支持されています。また「日常と地続きの別世界」をテーマに、時には劇場を飛び出し、アトリエ、プラネタリウム、野外公演と様々な空間で公演を行っています。浅草の遊園地はなやしきを借り切り、パーク全体で同時多発のストーリーを展開した公演や、アクティブ・リーディングという独自の手法で展開する朗読公演など、その企画性は多様性に富んでいます。スタイルはスタンダードに、発想は奔放に。いつまでも色褪せず、現代人の心を揺さぶり続ける上質な娯楽を創作する、それがKAKUTAの特色です。

桑原裕子 (KAKUTA 主宰・作・演出・役者・東宝芸能所属)



主宰の桑原裕子は、作・演出を兼務し、役者としても阿佐ヶ谷スパイダース・葛河思潮社・双数姉妹・道学先生・ブラジル等、人気劇団や白井晃演出作品などへ多数出演。脚本家としても舞台・映像・ラジオ・ノベライズ小説・ゲームシナリオと様々な分野に脚本を提供、世田谷パブリックシアター主催「往転」（11年、作演出）は岸田戯曲賞、鶴屋南北戯曲賞の最終候補になるなど好評を博し、韓国で開催された、2016年現代日本戯曲のリーディング公演「往転 S L I P」シンポジウム＜ソウル＞にも参加。近年は山下達郎クリスマス・イブ(30th Anniversary Edition) 初回限定盤特典「クリスマス・イブ」新録ショート・フィルムやドラマ「温泉マル秘大作戦」の脚本も手掛ける。また、演出家としては2011年～2013年までブロードウェイミュージカル「ピーターパン」の潤色・作詞・演出と活動の幅を広げている。09年KAKUTA作品「甘い丘」再演で第64回文化庁芸術祭・芸術祭新人賞（脚本・演出）を受賞し、14年KAKUTA作品「痕跡（あとあと）」（青山円形劇場・北九州芸術劇場にて上演）にて、第18回鶴屋南北戯曲賞を受賞。

アルケミスト

小説『アルケミスト』の著者パウロ・コエリョから認められた日本で唯一のアーティスト。1997年11月、玉川大学学園祭前日、井尻慶太のピアノにあわせ、こんやしようたろうが歌ってみたら、初めてなのに息がぴったり、そのまま次の日、グループ名をパウロ・コエリョの小説『アルケミスト』から命名し、学園祭ライブに出演。アルケミストの音楽の旅がはじまる。2002年冬、奇跡的にも小説「アルケミスト」の著者パウロ・コエリョ氏に会う。その時、彼は二人に「どんなに離れていても、僕等是一緒だよ。君たちはもうすでにアルケミストなのだから。」と言葉を残した。未来の自分に「がんばれ、学園祭を飛ばす合唱曲「あの空」は、卒業式、1/2成人式など全国の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校で、また海外でも歌われている。また、生きる理由を伝えよう生まれた楽曲「約束」は、乳がんで子供を産んですぐの妻を亡くした、よみうりテレビアナウンサー清水健との友情から生まれた。CDの売り上げや活動の収益の一部を難病を治す薬の開発などに役立てる「約束」基金を設立。また、現在は積水ハウスやボカリスエットイオンウォーターのCMソングを担当するなど、全国規模で活動を広げている。 <http://www.voicerecords.net/alchemist/>



「おれも こわいよ
でも これは 誰でもいつかは
通り抜けねばならんことじゃないかな…」
内気でのろまな黒猫のランと、池に住むひとりぼつちの小さな魚。
大地や木や花、虫たちと、あたたかく静かな時間（とき）が流れます。
ところが満月の夜、二人に大きな試練が訪れます：
ミュージシャン・アルケミストを迎えて贈る、うたとことぼの朗読音楽会。

